

資料編

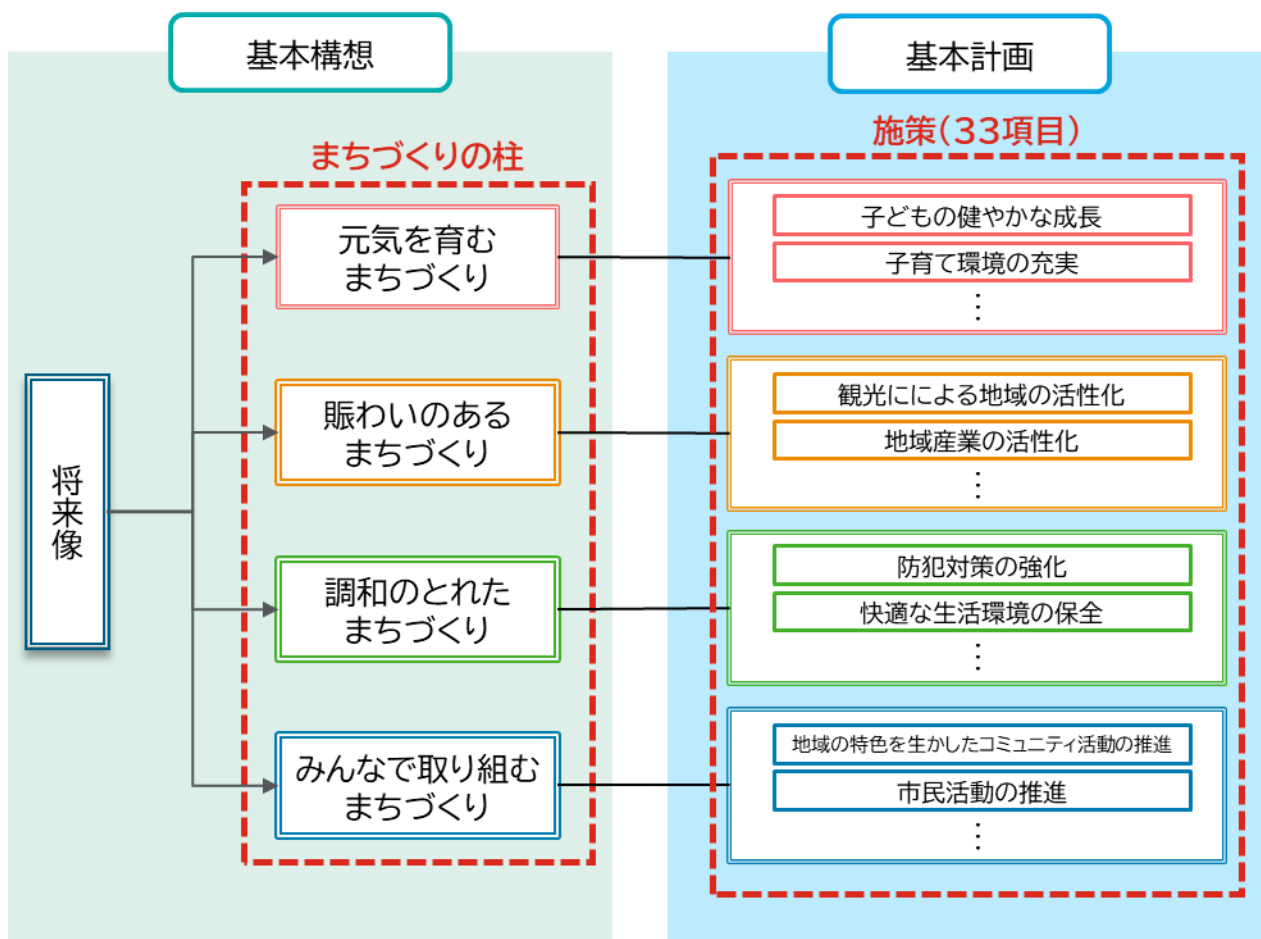
I. 第2次総合計画の振り返り

(1) 振り返り検証について

第2次宗像市総合計画では、将来像の実現のために、大きな目標として4つの「まちづくりの柱」を設定し、さらに各まちづくりの柱の目標達成のための取り組みを「施策」として取りまとめていました。

本計画を策定するにあたり、前計画の達成状況を検証しました。

【第2次宗像市総合計画の計画体系概略図】



(2) 各施策の達成度

「元気を育むまちづくり」、「調和のとれたまちづくり」、「みんなで取り組むまちづくり」の3項目は達成度が80%以上となり、一定の成果がみられました。しかし、施策の中には達成度が80%未満となった項目もありました。

また、「賑わいのあるまちづくり」については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、達成度が63%と比較的低い結果となりました。主に観光や産業の振興に関わる施策であり、本計画の策定においては、この結果を踏まえた施策の立案を行います。

【達成毎の達成状況】

- 達成度100%……………3 施策
- 達成度80%以上 100%未満……………17 施策
- 達成度60%以上80%未満……………8 施策
- 達成度60%未満……………5 施策

後期基本計画 R5年度達成度	まちづくりの柱	まちづくりの柱 の達成度	施策名	各施策の 達成度
81.3%	元気を育む まちづくり	80.8%	子どもの健やかな成長	68.8%
			子育て環境の充実	98.0%
			教育活動の充実	100.0%
			教育環境の充実	62.1%
			グローバル人材の育成と国際交流の推進	96.3%
			健康づくりの推進	53.7%
			安心できる医療体制の充実と社会保険制度の健全運営	97.1%
			高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	72.5%
			自立した生活の支援	69.7%
			互いに尊重し、協力し合う社会の充実	89.6%
	賑わいのある まちづくり	63.4%	観光による地域の活性化	85.3%
			地域産業の活性化	71.3%
			資源を活かした島の活性化	59.9%
			女性の活躍推進による地域社会の活性化	50.0%
			生涯を通じた学習の振興	58.1%
			スポーツの多面活用	55.8%
	調和のとれた まちづくり	89.4%	防災対策の強化	96.0%
			防犯・交通安全・消費生活対策の充実による安全・安心して生活できる環境整備	92.0%
			快適な生活環境の保全	75.1%
			自然環境の保全と再生	93.4%
			世界遺産と歴史文化の保存と活用	87.2%
			調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成	99.5%
			都市再生の推進	80.8%
			住宅施策の推進	83.6%
			都市基盤の整備	89.9%
			公共交通の利便性の向上	96.6%
	みんなで取り組む まちづくり	85.9%	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	83.7%
			市民活動の推進	64.6%
			情報発信の充実	100.0%
			連携によるまちの経営	100.0%
情報化の推進・情報の適正管理			87.5%	
公共施設等公共資産の管理、最適化の実践			66.7%	
計画的かつ効率的な行政経営	98.7%			

II. 市民意見

第3次宗像市総合計画を作成する過程で、市民のみなさんからのご意見を伺うために、アンケートやワークショップを実施し、市の課題やご要望に対する幅広い意見を集めることができました。

(1) アンケートの実施概要

調査期間	実施方法	回答者数
令和5年8月～ 令和6年6月	インターネット、回答用紙による回収	215名 (オンラインによる回答117名、文書による回答98名)

(2) 市民ワークショップの実施概要

実施日時	会場	参加者数
令和6年5月18日(土)	Umiba	8名
令和6年5月19日(日)	河東西小学校	8名
令和6年6月8日(土)	海の道むなかた館	9名
令和6年6月8日(土)	Cocokara ひのさと	18名
令和6年6月9日(日)	城山中学校	8名
令和6年6月16日(日)	メイトム宗像	11名
令和6年6月16日(日)	自由ヶ丘地区コミュニティ・センター	12名

(3) 出張ワークショップの実施概要

実施日時	会場	参加者数
令和5年7月7日(金)	宗像中学校	76名
令和5年9月25日(月)	九州産業大学	20名
令和5年10月21日(土)	国際環境会議 学生セッション	20名
令和6年2月15日(木)	子育て世帯の移住者セミナー	12名
令和6年5月13日(月)	むなかた子ども劇場	5名
令和6年6月21日(金)	ママボラむなかた	15名
令和6年6月27日(木)	福岡教育大学	23名

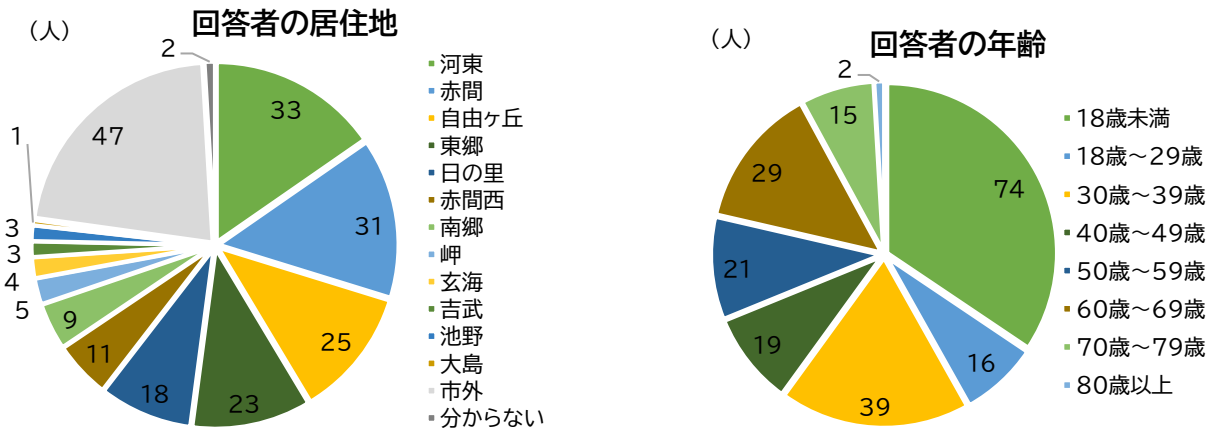
(4) 職員ワークショップの実施概要

実施日時	会場	参加者数
令和6年5月30日(木)	宗像市役所 103A 会議室	22名
令和6年6月12日(水)	宗像市役所 103A 会議室	12名
令和6年6月18日(火)	宗像市役所 202 会議室	14名

1. 市民アンケート

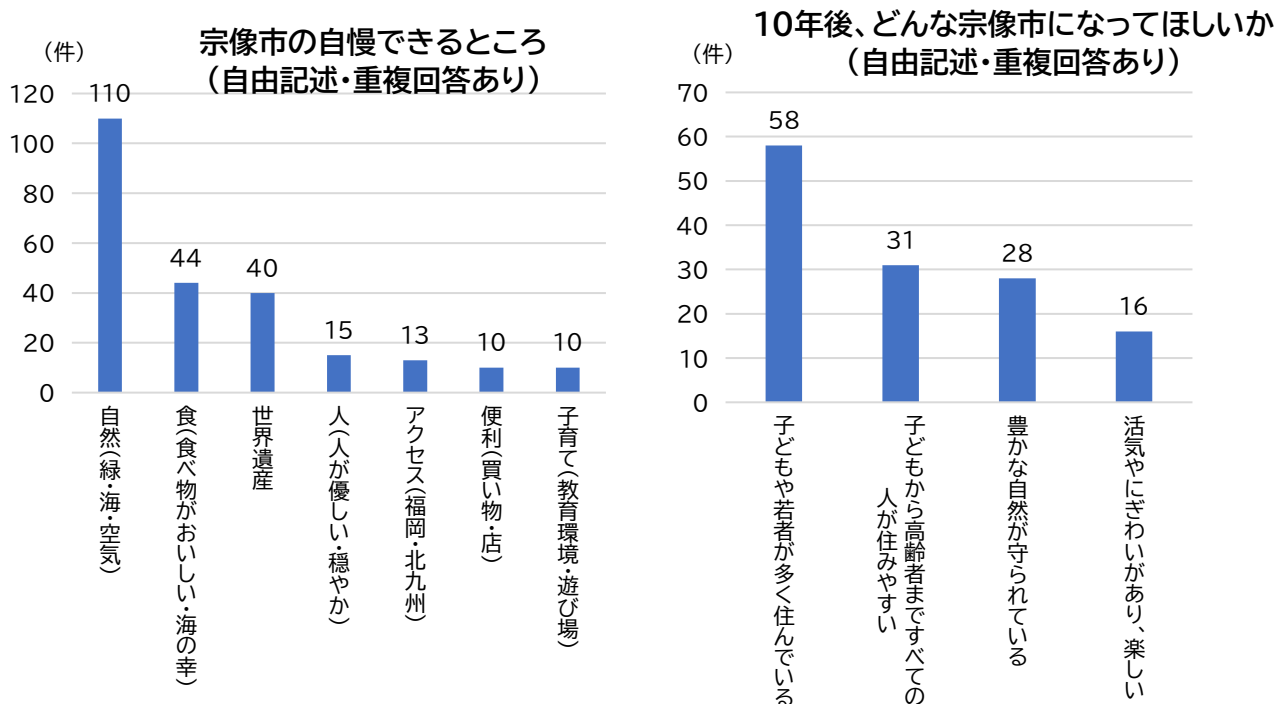
(1) 回答者の属性

市民アンケートでは、市内外を問わず様々な地区にお住まいの方 215 名に幅広くご回答いただきました。また、回答者を年齢別で見ると 18 歳未満の回答者割合が最も高く、これからの宗像市を担う人材からたくさんの意見をもらうことができました。



(2) アンケートの主な意見

宗像市の自慢できるところを聞いた質問では、全体の半数以上の方が自然について回答し、食や世界遺産についての回答も多く集められました。また、10 年後、どんな宗像市になってほしいかという質問では、子育てや教育環境が充実し、子どもや若者がたくさん集まるまちになってほしいという声が多かったです。



2. ワークショップ

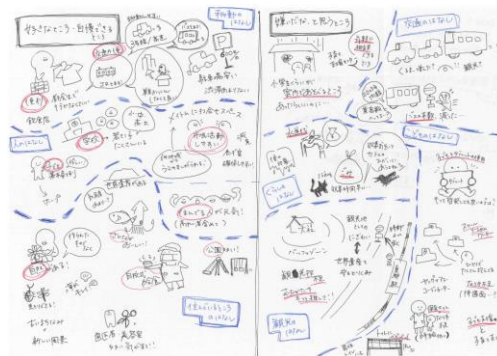
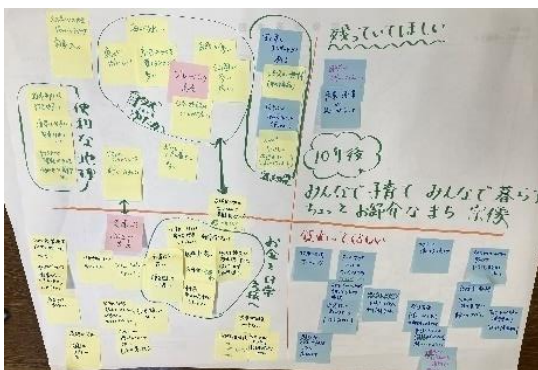
(1) 市民ワークショップ

市民ワークショップでは、「10年後の宗像市」をテーマに様々な世代の市民がグループに分かれて話し合い、「子育てしやすい環境」や「強みを活かす・発信する」「働く場所」「チャレンジできる」などのキーワードが多くあげられました。



(2) 出張ワークショップ

出張ワークショップでは、市民アンケートの項目である、宗像市の自慢できるところや嫌いだと思うところなどについて話し合い、10年後の宗像市の姿を考えました。宗像市の自然や市外への交通利便性、子育て・教育環境などへの意見があげられました。



(3) 職員ワークショップ

職員ワークショップでは、宗像市の職員が総合計画の意義や総合計画に必要な視点について話し合いました。総合計画の策定に市民や職員など皆で関わっていくことや、計画を一人でも多くの人に知ってもらうことが大切だという声があげられました。

